

松尾育成会だより

平成12年度
第3号

松尾青少年健全育成会
広報部

育成会の教養部の活動としては、青少年の健全育成にかかわる問題について研究して活動する。

- ① 家庭のしつけ講座を3会場実施する方向で取り組む。
- ② 夏休みの指導に向けての研修会を開く。(地区懇談会)
- ③ 児童・生徒(保護者も含む)等の意識調査実施
- ④ その他の活動を研究し取り入れる。

教養部では、このような活動内容で青少年の育成について考えていきたいと思っております。

ちよと言

少年補導委員会一班班長 平栗 宗則

補導委員をと言われ、とても無理だと思つてやめてまいりましたが早いもので、二年をむかえようとしています。

私達、一班は毎月二日のPM七時半より集合して街頭補導を行っています。

時に思う事は、松尾城趾の明かりの無い事や、若者達が、遅くまで歩き廻っているのを見ると、早く家に帰って、家族そろって今日あった事やつまらない話しても皆で聞いたり話したりできる事が、今一番大切なことなのではないだろうか。

家族の中で、一人一人になる事が多くて、そろって色々するといふことが少なくなっているのでは

ないだろうか。家庭の平和が、今一番守って行かなければと思う。

毎月の巡回において

少年補導委員会二班班長 丸山 篤

私は、去年より少年補導委員として活動しています。

2班で中村さん、原さん、田平さん、私の4人で毎月9日前後の日に、松尾地区のコンビニ、カラオケ、パチンコ店、公園、八幡駅など巡回しています。

巡回して気付いた事は、まだまだ青少年に悪影響する様なビデオの販売や本などがあります。

この様な有害な社会環境を浄化するために積極的に活動していきたいと思っております。

巡回活動報告と街頭補導

少年補導委員会三班班長 桐生 春人

「最近の少年非行や犯罪の多発また不登校や学級崩壊など、青少年をめぐる問題は深刻な状態になっている。」

次代を担う青少年が伸び伸びとすこやかに成長していくためには親はもちろん大人の責任として地域ぐるみで青少年を見守り育て、非行を防止する環境を築くことが必要。」との観点に立ち有害環境浄化巡回活動を育成会・小中学PTA役員の皆様に協力して頂き七

青少年のために 温かな地域創りを

育成会 遠山 安實

一昨年「青少年の深夜はいかいかがある」と巡視の中で話があり、早速アンケートで考えを聞いた所「非行のもと。家庭で厳しく指導を」「親は何をして」「親がしっかりして」と言う叫びにも似た意見。深夜に家をこっそり出る事自身問題なんだ、と取らえて下さる方が90%以上。一方「一種のレク。大目に」「ストレス解消」「迷惑をかけなければ良い」と穏やかな意見。万引きについても、「レク。自然に直るから」たしかに価値観の多様化はあるが、その場において何を教え、わからせておかなければならないか、その基本は時代が変わっても不変なものではないと思えます。問題現場に立つて適切な指導だけは避けて通ることはできません。やはり指導は家庭、心が通い合わないためだと思えます。

青少年の犯罪が連日のように報じられています。おとなしい子供が突然大きな問題行動を引き起こす。現代はどの子供でも問題行動を起こす要素を持つと言われます。本当にそうでしょうか。真面目に全力で取り組み生きて行く子供が殆どです。それと背中合わせに子供さんと真剣に取り組みコミュニケーションをはかりながら子育て

月二十三日行なわれた。私達三班という事で、水城、上溝、常盤台地区の対象となる酒、タバコ販売店、ビデオ店、飲食店を回り青少年に有害な社会環境のチェック、協力依頼を行った。

一方補導委員独自で、街頭補導を年間十五回予定、行っている所であるが、環境よりも家庭の躰が主体であり、「子供は親の背中を見て育つ」のであり大人一人一人に行動責任が向けられている。

「ジコ虫」について

少年補導委員会四班班長 江塚 正司

最近、テレビでよく「ジコ虫」という言葉を目にします。「ジコ虫」とは、自己中心的な行動をする人を表わす言葉だそうです。

先日、七月二十九日に、水神橋の花火大会で、少年補導委員として巡回活動を行いました。その中で私も「ジコ虫」と思われる光景を目にしました。それは、水神橋中央の車道で花火見物をしてながら飲食をした後、あとかたづけもせず、ゴミを車道に放置したまま帰ってしまった人達が多かったです。この様な行為は他人に多大な迷惑がかかると思われまます。「ジコ虫」にならないという事は、他人に迷惑をかけるという事だと思えます。私も「ジコ虫」にならない様、気をつけなければいけないと、つくづく思いました。

有害自動販売機は 受け入れない!!

松尾地区少年補導委員会会長 中村 茂男

「有害自動販売機」って何だか知っていますか。自動販売機と聞くと、ジュース類、又はタバコの自動販売機が頭に浮かぶかと思いますが、ところが、有害自動販売機となると、内容が全く違います。説明するにもはつきり内容の雑誌、ビデオテープ、或いは大人のおもちゃと呼ばれる類の物が入っており、これが一般の道路脇に設置されています。私も補導活動の巡回の折、何度か目にして、子供達の健全な成長の過程において、好ましくないものと強く思います。

この様なものが、ある日突然に家の近くに設置されたらどう思いますか。心穏やかでは居られないと思います。こんな事が起こらない様に、お互いに回りの事に注意しなければなりません。

又、この様な自販機を設置させない為にも、自分の所へ自販機の設置の話が来たら、内容をきちんと確認する事、直ぐには返事をしない。信頼出来る人に相談する等、充分納得して問題無い事を確認した上で行動を起こして下さい。又一度有害自販機を設置してしまうと、解約・撤去する為には、相当な事をしなければなりません。自分自身いやな思いをするばかり

過ごすことが目的ですが、そのためには、松尾地区としての、受皿や対応が大きな課題であります。育成会の皆さんのご示唆をいただきながら、学校としての提言をする所存です。ご指導下さい。

いま、問われていること

緑ヶ丘中学校長 北原 更一

公民館等のご尽力により、本校では毎回は十講座五十人の地元の方を志向し、少年少女に未来からの風となつて生きる力を鼓舞する皆様方のご協力の賜物です。

先日、豊橋市で、中学生による三速南信交流会が開かれました。飯田市からも浜松・豊橋の代表に互して「新しいまちづくりへの参画」の提言があり、白熱した討論が展開されました。とり分け、りんご並木など地域が一体になった取り組みの大切さが紹介され、明日の豊かなまちづくりを誓い合う真摯な姿に勇気づけられました。本校では「家族や地域にも声を掛けてアルミ缶を回収し、不自由な方へ手をのべる」地味なボランティア活動が続けられています。「いたわり合い共に育つ地域づく

松尾保育園から

松尾保育園長 高田 大八

上の表は、八月中旬現在、松尾保育園でお預かりしている園児の人数です。保育時間は、長時間・延長保育のある拠点保育なので、午前七時三十分から、午後七時までとなっております。

安心・安全な保育を徹底において、園児の「自立心」を、その発達段階に応じて育てることに日々苦心しています。

飯田市の中で、若い夫婦の多いところ、今後も園児の増加が予想される松尾地区です。現在は、地域の必要に全面的に応えられない状況ですが、地域の皆さんのご理解とご協力をいただいで乳幼児期の育ちの万全を期し、青少年の健全育成に寄与したいと思いま

ヤングテレホンを 御存知ですか

子供の非行問題や、お悩み事が有りましたらお気軽にお電話下さい。

県警本部少年課 ☎〇二六・二三二・四九七〇

伊那署 ☎〇二六五・七七・〇七八三

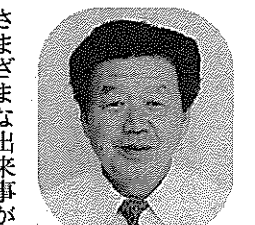
飯田署(生活安全課) ☎二二・〇一一〇(内線)二六二

編集後記

本年の育成会だより、前期、後期に発行する事になり、各方面の方々に原稿を、お願いしここに、前期号として発行出来事、感謝申し上げます。

本紙にて事業内容、計画等を見ていただき参加又は協力をお願いいたします。紙面では限られた一部しか紹介出来ませんが、地区内の青少年の育成活動に御理解が得られれば幸いです。

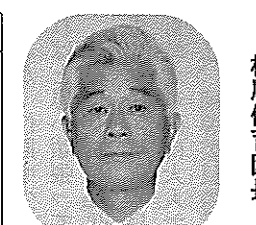
(広報部長 原 勝人)



松尾小学校長 塩澤 正人



公民館等より、本校では毎回は十講座五十人の地元の方を志向し、少年少女に未来からの風となつて生きる力を鼓舞する皆様方のご協力の賜物です。



上の表は、八月中旬現在、松尾保育園でお預かりしている園児の人数です。保育時間は、長時間・延長保育のある拠点保育なので、午前七時三十分から、午後七時までとなっております。

年齢	人数	合計
1才児	12	238
2才児	18	
3才児	66	
4才児	71	
5才児	71	

お母さん、私の目、見て！

松尾東保育園長 荒井 弘子



子ども達が、一番うれしそうに表情を見せる時、それはお父さんやお母さんが、お迎えに来られて、目と目が合った時です。

「あっ、この子こんないい表情をするんだ。いい親子関係が結ばれているんだろうな。」

保育園の中でうれしい事があった時の顔とは、また違います。やっぱり、お父さんや、お母さんの愛には勝てません。

お父さんや、お母さんとの心の絆を太く育てる時。こんな感受性をもって、こんな表情を見せてくれる幼児期の今しかないかも知れません。この絆が「太いか」「細いか」で大きくなった時、「ふんばれるか」「きれっちゃうか。」そんな気がする毎日です。いい表情に、たくさん出たい。

天使達、又多くの卒園生が大変お世話になり心より感謝申し上げます。

激しくゆれ動く現代社会の中で山積する青少年の諸問題の解決策は急務です。弱さを祝福できる共同体づくりが必要ではないかと考えます。出来るか出来ないかの価値観ではなく、一個人を限りなく尊い存在とし人間の弱さや違いを相互に受け入れ支え合う心を、共同体の軸として新しい秩序を造る努力をしていくならばやがて子供達は精神的な力強さを得てより豊かな成熟した社会を目ざすことが可能ではないだろうか。

父親の役割

小学校PTA会長 菅沼 隆



今日の青少年の現状は、社会情勢の急激な変化に伴って、いろいろな問題をかかえています。

時代を担う青少年の中には、非行、情緒障害、不登校等、心を病む子供が現われてきており、又、環境面では、俗悪情報、交通安全不健全な遊び場等、見逃す事のできない憂慮すべき数多くの問題が

生まれてきております。そのためには、家庭教育の充実、地域ぐるみの健全育成体制の確立、教育環境汚染に対する浄化等が重要であると思われま。

今回は家庭内での教育を考えてみたいと思います。バブル時代が終って父親が家庭に戻ってきまし。現在の父親像は変化し、厳しい父親が、やさしい母親に近づき、やさしい母親が厳しい父親に近づき、父母が同質化してきました。お父さんに対して子供は「理解してくれ」事を望んでいます。それは、どんな事でも文句なしに要求を通してくれる事ではありま。一つの理論をしっかりと持っていて、それを分る様に説明して「いけない」とはつきり拒否してくれる所に魅力が有るのではないのでしょうか。

私は普段は、楽しくあれば良いと思っておりますが、子供が許せない事をした時には、うるさく厳しくしかけています。



地域とともに 中学校PTA副会長 浜島 誠



日頃より青少年健全育成会を始めとする地域の皆様が子供たちに

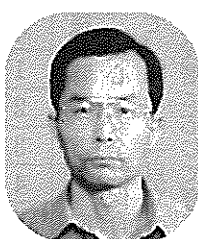
対して我が子同様の暖かい眼差しでご支援して下さること、私たちが親にとりましても心強い限りです。心より感謝申し上げます。

ここ数年少年が引き起こす犯罪が多発、大きな社会問題としてクローズアップされております。少年法改正も議論される昨今です。同年代の子供を持つ親として、とても気になる場所です。勿論、一部の子供たちの問題・事件が衝撃的に報道されているだけであり、大多数の子供たちは一生懸命に頑張っているのですが、校内暴力・いじめそして青少年犯罪は身近な問題となっております。誰もがその当事者となってしまう可能性・リスクを持った時代であると思えます。

家庭、学校そして地域が協力して、健やかで夢多き子供たちに育ててまいりたいと思えます。今後とも青少年健全育成会の皆様のご支援をお願いします。

松尾地区少年

補導委員会から 会長 中村 茂男



今回、松尾地区青少年健全育成会の活動の一環として、育成会の広報の発行に当り、紙面をお借りする事となりました。育成会と、補導委員会は、組織の上では、別のものですが、青少年の健全育成を助ける目的では全く同じであると考えます。それぞれ、本職ではない者が、任期中少しでも役に立てればと思ひ頑張っております。

そんな中で、最近思う事があります。子供達に、良い事も悪い事も教えるのは大人であると。これも私、補導委員の役を務める様になり強く思う様になりました。先づ大人が手本を示し、そして子供達に教え込む。お互いに、子供達を育成する上で、何が本当に大切なものか、良く考えて見たいと思えます。

子どもにことばを

かけることを



主任児童委員 片桐みどり

「行って

きました」とと鼻の頭に汗をいっばい浮かべて元気に挨拶

して行く小学生、寒い冬の朝「おはようございます」と急ぎ足に学校に向かう中学生。こんなことも

「お前なら出来る。やってみろ」「えらいねえ」子どもたちに自信と勇氣を与える励まし。「早く帰るなよ。お父さんやお母さんが待つとるで。」地域の人のこんなことばで私も私の子どもも、ずいぶん救われました。

いろいろな人からたくさん愛情深いことばをかけてもらって子どもの心は豊かにふくらんでいくのだと思います。

が子どもの幸せを願って心を砕いてくださっています。しかし、地域の未来を担うことも大切です。もっと地域のみんなが心を合わせて育てていかなければならないと思えます。そのためには誰にでもできて子どものためになること「みんなが「子どもにことばをかけること」を提唱したいと思えます。ささやかなことですが、みんなの力が結集すれば大きな成果が期待できると思えます。

リーダー研修会の思い出

緑中二年一組 山口 博子

私は、このリーダー研修会に参加して、色々な事を学びました。始めは、友達が出来るとか、とても不安でした。でも、本当にみんないい人ばかりで、すぐに友達をつくる事が出来ました。

私達中学生は、ジュニアリーダーとして小学生をまとめたり、何をするにも先だったけれど、小学生達もなついてくれて、スムーズに色々な行事が出来ました。

何ととっても印象的なのが、一日目の夜に行った、キャンドルの集いです。全員が一つの事を楽しんでいました。私はその時、ここに集っている人達が、それぞれの学校から代表で来ているだけであるかと思いました。

勉強になった リーダー研修会 松尾小六年一組 福岡 俊平

ぼくは、阿南少年自然の家で行なわれた、一泊二日のリーダー研修会に参加して、いろいろ学びました。

一つは、チームワークです。ウォークラリーで、班のみんなと協力して、ゴールできたのは、このチームワークがあったからだと思います。だから、協力、助けあひはげましあうことが、大切だと思いました。

二つ目は、友だちを作り、仲よくなることです。研修会の一日目はダンスをしました。いろんな人と組んで楽しくおどることができて、班以外の人も仲よくなることになりました。

リーダー研修会に参加した

松尾小六年一組 松山 晴紀

五月二十、二十一日に阿南少年自然の家でリーダー研修会があった。ぼくは友達と一緒に参加しました。

活動拡大について 松尾少年ゲートボール指導責任者 小木曾易夫

ゲートボールクラブ 松尾育成会の活動の一環として、松尾少年ゲートボールクラブの開設のお知らせ。只今松尾小学校内のゲートボールクラブを、塩沢正人校長先生始め、鎌倉先生、溝口先生のご理解とご協力を頂き、男子生徒四年生から六年生十六名で意欲満々で練習しています。

平成十四年には週五日制になること、二日間の中、二時間程体力と頭脳をつかい、人と人との和を大切に、ゲートボールは、お互いに助け合う心がないとできません。

育成会のゲートボールは十月第二土曜日と第四土曜日の午後一時から電水園のコートで、二年生以上、男子生徒、女子生徒混合で行います。混合でできるスポーツは他にはありません。友達を大勢さそって参加してください。

良い汗流して たのしい一日 行事部長 島崎 昌幸

青少年のふれあいの場づくりとして、今年度も、九月三十日に、松尾小学校体育館にて「レクリエーションと映画を観る会」を開催します。昨年度では、百六十人もの子供達が参加され、フーズゲームを始め、色々なゲーム、又、映画観賞、とても楽しい一日を過ごしました。

また来年の二月十日には、松尾文化祭に合わせ、松尾公民館にて「カルタ大会(百人一首)」を計画しております。楽しい企画があるので、多くの参加を、お願いします。

健全育成を考える

教養部長 吉川 武志

このところ青少年の犯罪が、目につくほど増加しています。薬物、窃盗、恐喝などいろいろあります。育成会では、地区内各種団体・一般の方々に協力頂き、この様な犯罪をなくそうと考えています。